

## 四重唱「せめておっしゃって、私がどんな過ちを犯したのか」 K.479 について

野口秀夫

## 1. はじめに

犬輔：四重唱「せめておっしゃって、私がどんな過ちを犯したのか Dite almeno in che mancai」 K.479 は、ジョヴァンニ・ベルターティ台本／フランチェスコ・ビアンキ作曲《誘拐された村娘 La Villanella Rapita》のヴィーン上演（1785）のために、オリジナルのレチタティーヴォ・セッコを四重唱曲に書き換えたものとされています。

鳥代：同じ上演のために三重唱「やさしいマンディーナ」 K.480 も作曲されています。

犬輔：ビアンキの《誘拐された村娘》は全曲の録音がなく、またどういった経緯でモーツァルトが曲を提供することになったのかも分かっていないので、K.479 と K.480 がもっぱら単独曲として聴かれてきたのです。

教授：諸君たちには、モーツァルトが参照したと考えられるビアンキの《誘拐された村娘》のリブレットの版についての調査（元の歌詞はどうなっていたのか、本当にレチタティーヴォだけからの書き換えか）をし、その結果に基づいて楽曲分析（モーツァルトが盛り込んだものは何だったのか）をしてもらいたい。

## 2. 『誘拐された村娘』の粗筋

犬輔：まず粗筋を紹介しておきます。

伯爵は農場の娘マンディーナに恋をしている。彼女の婚約者は農家の青年ピッポである。伯爵が彼女に近づこうとする試みは、マンディーナとその父ビアージョによって、領主の好意の表れであると素朴に誤解される。ピッポだけが試みを見抜き、ビアージョとマンディーナと口論になる。第 1 幕第 12-13 場で伯爵はマンディーナに自分の本当の動機を明らかにしようとする (K.480)。彼は彼女と一緒に住むかどうか尋ねる。マンディーナはそれをピッポとの結婚式後、二人を邸に住まわせるという申し出と受け取り、婚約者や父親にそのことを伝えたいと言うが、伯爵はそれを拒絶する。とうとう伯爵は彼女に財布を贈る。マンディーナはそれを伯爵の善意の証として何の疑いもなく受け取る。その様子を観察していたピッポは激怒して現れ、主君の善良さ (Bantà) を皮肉たっぷりに語る。伯爵は試みを未達成のまま撤退せざるを得なくなる。マンディーナにはピッポと伯爵の騒ぎが理解できない。伯爵はマンディーナを誘拐することを決意する。これは、第 1 幕のフィナーレで、伯爵が主催した祝賀会の後に起こる。睡眠薬で麻痺したマンディーナは伯爵の城に連れて行かれる。そしてついにビアージョとピッポが登場する (第 2 幕第 13-14 場、K.479)。マンディーナは中傷と非難にさらされる。原因も分からず、騒動による混乱と絶望の中にいた彼女を父親と婚約者は勘当する。伯爵の登場で騒ぎはさらに大きくなる。

鳥代：薬で眠らせるなんて犯罪だわ。18 世紀の宮廷人はとんでもないことをしていたのね。

教授：領主権と言われる旧弊が残っていたのであろう。半分以上はフィクションだと思うがね。

犬輔：マンディーナの単純さは K.479 の直前の場まで続いています。その第 2 幕第 12 場の後半を訳してみましょう。ボローニャ (1784) 版を訳します。

表 1 ジョヴァンニ・ベルターティ『誘拐された村娘』ボローニャ (1784) 版

ATTO II. SCENA XII.	第 2 幕 第 12 場 (後半)
Pip. Il Canchero, Che ti rosichi il naso. Dopo quel, ch'è seguito, E che ti trovo quì con quel vestito? Man, Me l' ha dato il Padrone. Pip. Eh! sì, t'ha daro Anche qualche cos'altro, è ben per questo, Che per ine più non fai. S'io ti trovava con il Vestito tuo Via via potea pensare ..... Ma ritrovandoti come t'ho trovata E' segno, che ti sei prima spogliata. Man. Non m'ho spogliata, io te l'afficuro, Ma fu il Padrone. Pip. Peggio. Addio.	ピッポ 鼻をかじるような 不愉快なことだ。 そしてその後の出来事として、 ドレスを着てここにいるお前を見つけたんだ。 マンディーナ 殿様が私にくれました。 ピッポ へー！ そうか。僕もお前に色々上げた、 でも、最終的にお前は 良くしてくれなくなった。 ドレスを着たお前を見つけて、 だんだん思えてくるのは……。 そうだ、お前を見つけたときの様子は お前が最初に服を脱いだという兆候だ。 マンディーナ いいえ、断言しますが、服を脱がせたのは 殿様でした。 ピッポ もっと悪い。さよなら。

### 3. ベルターティ／ビアンキの《誘拐された村娘》の各地における上演

犬輔：ベルターティ／ビアンキの《誘拐された村娘》はヴェネツィアで 1783 に初演されました。リブレットが残っている各地の上演は以下のとおりです。

表 2 《誘拐された村娘》の現存リブレット

上演年	上演場所	参照できたりブレット出版	備考
1783	ヴェネツィア	Venezia, Modesto Fenzo <sup>注1</sup>	
1783 以後	リヴォルノ		
1784 秋	エステルハーザ		
1784 秋	ボローニャ	Bologna, Sassi <sup>注2</sup>	
1784 秋	パドヴァ		
1784 秋	トリノ	Torino, Onorato Derossi <sup>注3</sup>	
1785 カーニヴァル	トリエステ		
1785.2.12	ドレーズデン	Dresda, [s.n.] <sup>注4</sup>	
1785.5.7	ジェノヴァ		
1785 夏	ヴェネツィア	Venezia, [s.n.] <sup>注5</sup>	
1785 サン・ロレンツォ見本市	ヴェネツィア		
1785 秋	ミラーノ	Milano, Gio. Batista Bianchi <sup>注6</sup>	
1785 秋	プラハ		誘拐された花嫁
1785.11.25	ウィーン	Vienna, Giuseppe de Kurzbeke <sup>注7</sup>	

### 4. ウィーン (1785) 第 2 幕第 13 場と対応する各上演リブレットの比較

鳥代：ウィーン (1785) で K.479 が歌われる第 2 幕第 13 場を、各上演リブレットと比較してみたいと思います。

犬輔：表 2 の 7 つのリブレットから該当部分を比較したところ、ヴェネツィア版 (1783)、ボローニャ版 (1784)、ウィーン版 (1785) の 3 つのグループに分けることができました。残りはボローニャ版 (1784) とほぼ同一です。

教授：各版の相違をまとめておきなさい。

鳥代：はい、表 3 にまとめます。表中 T：トリノ (1784) 版、D：ドレーズデン (1785) 版、M：ミラーノ (1785) 版、V：ヴェネツィア (1785) 版のことを指します。なお、大文字、小文字、アクセント記号、句読点、感嘆符、疑問符、改行、ト書き、綴り方の差違は比較の対象から外します。

表 3 ジョヴァンニ・ベルターティ『誘拐された村娘』各版の相違

ヴェネツィア (1783) 版	ボローニャ (1784) 版	ウィーン (1785) 版
<b>SCENA XIII.</b>	<b>SCENA XIII.</b>	<b>SCENA XIII.</b>
Sta col padrone.	[M] Va col padrone.	
Caro Padre, Pippo mio.以下	Ah no! per carità! morir mi fate.	Dite almeno in che mancai.
<b>SCENA XIV.</b>	<b>SCENA XIV.</b>	
以下ボローニャ (1784) 版とは異なる内容	[D, M] SCENA XII.	
	Che il Papà mi sgrida, e quel che peggio	
	[T, D, M, V] Perché il Pappà mi sgrida, e quel ch'è peggio	
	<b>SCENA XV.</b>	
	[D, M] SCENA XIII.	
	Che cosa fate?	
	[T, M] Ehi?... cosa fate?	
	[V] Chi cosa fate?	
	Sposarvi! oh questo poi.	
	[V] Sposarmi. oh questo poi.	
	Il dubbio, che tengo	
	[V] Il dubbio, ch'io tengo	
	Cu cu, non lo credo,	
	[D, M] Cù, cù; [V] Cucù!	
	Nò, che lo prenderò.	
	[T, D, M, V] No che nol prenderete.	
	Che cosa far saprò.	
	[T, M, V] Che cosa saprò far.	
<b>SCENA XV.</b>	<b>SCENA XV.</b> (XVI のはずですが)	<b>SCENA XIV.</b>
	[D, M] SCENA XIV.	

犬輔: では順に訳しておきましょう。各版のユニークな部分を赤字で示します。ボローニャ (1784) 版を表 4 に、ヴィーン (1785) 版を表 5 に、そしてヴェネツィア (1783) を付表 1 に示します。先ずボローニャ (1784) 版の第 2 幕第 13-15 場です。

表 4 ジョヴァンニ・ペルターティ『誘拐された村娘』ボローニャ (1784) 版

SCENA XIII Biagio, e detti	第 2 幕 第 13 場 ビアージョ、マンディーナとピッポ
Bia. Eccomi quà, eccomi quà ancor io. Man. Oh benedetto il mio Papà! vedete, Che Pippo mi discaccia. Bia. Tu? così? Figlia mia? no, briconaccia. Man. Misera me! Che ho fatto? Pip. Se la prenda chi vole, io non son matto. Bia. Sì, sì. A quei contrasegni, Più semplice non credo Quel core, ch'io credeva semplicetto, Guardatela in che aspetto! Va via. Son quà venuto Con un core da padre. Ma ho fatto nel vedetti un core d'orso, Pip. Ed io un cor da cinghiale. Bia. Mutato il mio pensiero. Pip. Cambiato ho d'opinione. Bia. Resta pur col pardon. Pip. Sta col padrone. Man. Ah no! per carità! morir mi fate. Bia. Crepa. Pip. Schiatta. Man. Perchè tanto furore! Bia. Perchè son uom d'onore. Pip. Perchè divento rosso Solo a vederti quel vestito indosso. Man. Maledetto vestito, Che abborita mi rende! Su gl'occhi voftri istessi in quest istante Ecco ch'io me lo spoglio. (vuole spogliarsi.)	ビアージョ ここだ、またここにいるよ。 マンディーナ。 ああ、父さんに祝福を！ 分かりますか、 あのピッポが私を追い払ってしまうんです。 ビアージョ お前を？ そのように？ 私の娘を？ いや、野郎め。 マンディーナ 惨めな私！ 私が何をしたというの？ ピッポ 誰が彼女を取ろうとしても、私は平静です。 ビアージョ はい、はい。それらの兆候に対して、 私は単純だと信じていましたが、 その心はそれほど単純ではないと思います、 それがどのような状況か見てきてください！ あなたは行きなさい。私は父親の気持ちで ここに来ました。 でも、あなたを見ると心が痛みます。 ピッポ 私はイノシシの心になりました。 ビアージョ 私の考え方が変わりました。 ピッポ 私の意見が変わりました。 ビアージョ 恐縮します。 ピッポ お前は殿様と一緒にいればいい。 マンディーナ なんてこと！ とんでもない！ 私を死なせる気？ ビアージョ 亀裂だ。 ピッポ 破壊だ。 マンディーナ なぜそんなに激怒するの！ ビアージョ 私は名誉ある人間だからだ。 ピッポ だって、お前のそのドレスを見るだけで 赤くなるから。 マンディーナ 呪われたドレス、 なんと忌まわしいことでしょう！ あなたの目の前で、この瞬間に、 私は脱ぎます。(服を脱ごうとする)
SCENA XIV. il Conte e detti.	第 14 場 伯爵、ビアージョ、マンディーナとピッポ
Con. Ah! che vedo i che fai ? ferma non voglio. Man. Deh lasciatemi far. Con. Perchè Mandina? Man. Che il Papà mi sgrida, e quel che peggio Il povero mio Pippo è disgustato.	伯爵 ああ！ 何をしている？ やめよ、見たくない。 マンディーナ ああ、やらせてください。 伯爵 なぜだ、マンディーナ？ マンディーナ 父が私を叱る、そしてさらに悪いことに かわいそうなピッポはうんざりしています。

<p>Con. Che Pippo! Pippo è morto. Pip. Pippo a dispetto vostro è vivo, e sano. Con. Come! che ardir! fuori di quà Villano. Bia. Alto là, che ancor io Mi pongo in sua difesa. Con. Entrambi ucciderò con questo ferro. Pip. Ajuto... Bia. Ajuto... Man. Oh Dio! Pietà Signore. Con. Via di quà temerarj. Pip. Eh vado signor sì. (Ma questa qualchedun l'ha da scontare.)</p>	<p>伯爵 なに、ピッポ！ピッポは死んだ。 ピッポ お生憎さま。ピッポは元気に生きています。 伯爵 なんと！大胆なこった！出ていけ、田舎者。 ビアージョ 私は今でも 彼の弁護をしよう。 伯爵 この剣で二人とも殺してやる。 ピッポ 助けてくれ... ビアージョ 助けてくれ... マンディーナ ああ、神様！ お憐れみを、殿様。 伯爵 ここから出て行け、向こう見ずな奴らめ。 ピッポ ああ、行きます、はい。(しかし、これは誰かが收拾し なければならない)</p>
(parte.	(退場)
<p>Bia. Non fosse mai venuto a villeggiare.</p>	<p>ビアージョ 伯爵は避暑に来たことはなかったのに。</p>
(parte.	(退場)
<p>SCENA XV. il Conte, e Mandina.</p>	<p>第 15 場 伯爵とマンディーナ</p>
<p>Man. Addio, brutto padrone. Con. Dove andate? Man. Io vado A consolar Pippo, ed il Papà. Con. Ma voi morir mi fate. Man. Oh che buggiardo! Come vi so morir senz' armie in mano? Con. Eccovi il ferro, ed ecco il petto mio. Man. Cos' ho da far? Con. Ferite. Che cosa fate? Man. Io faccio tutto quel, che comandate. Con. Quand'è così carina, vi comando Di subito sposarmi. Man. Sposarvi! oh questo poi. Con. Via su da brava Facciam presto. Man. Ci ho un picciol dubbio. Con. E quale? Man. Il dubbio è questo.</p>	<p>マンディーナ さようなら、酷いお殿様。 伯爵 どこへ行く？ マンディーナ ピッポと父を 慰めに行きます。 伯爵 しかし、あなたは私を死に至らしめます。 マンディーナ ああ、なんて嘘つきなんでしょう！ 武器を持たずにどうやって死ぬるのですか？ 伯爵 これが剣、ここが私の胸です。 マンディーナ 何をしようとなさるのですか？ 伯爵 自刃だ。 あなたは何をしています？ マンディーナ あなたの仰せの通りいたします。 伯爵 とても美しいので、今すぐ私と結婚してくれと 命令する。 マンディーナ あなたと結婚する！ああ、大したものね。 伯爵 いい子にして 早速やってみよう。 マンディーナ ちょっと訊いてもいいですか。 伯爵。 で、なに？ マンディーナ 訊きたいことはこうです。</p>

<p>Il dubbio, che tengo Sentite qual è. Io prender sol voglio Pippin per marito, L'affare è finito, Di più dir non sò.</p> <p>Con. Or quel ch'io sostengo, Sentite cos'è. Se avrete l'orgoglio Di dirmi più questo, In fummo ben presto Pippin manderò.</p> <p>Man, Cu cu, non lo credo, Montate quà sù. <i>deriedndole come si fa ai fanciuli.</i></p> <p>Con. Oh quì poi non credo, Non soffro di più.</p> <p>Man. Pippino voglio prendere Se credo di schiattar.</p> <p>Con. Nò, che lo prenderò.</p> <p>Man. Sì, che lo prenderò.</p> <p>(a2) Per vincer questo gioco Vedrete ben frà poco, Che cosa far saprò.</p>	<p>私が抱く疑問 それが何であるかをお聞きください。 私はピッピーノを 夫として迎えただけ、 契約は終わりました、 それ以上は言えません。</p> <p>伯爵。 今、私が主張していること それが何であるかを聞いてくれ。 これ以上私に言える 度胸があなたにあるなら、 すぐに煙に巻いて ピッピーノを送り出してやる。</p> <p>マンディーナ カッコウさながらね、信じられないわ。 あなたは血が上っている。 <i>子供のように嘲笑する</i></p> <p>伯爵 ああ、私はそうは思わない、 もう苦しまない。</p> <p>マンディーナ もし死ぬのなら ピッピーノを連れて行きます。</p> <p>伯爵 いや、わしが連れていく。</p> <p>マンディーナ。 いいえ、私が連れていきます。 (二人で) このゲームに勝つために もうすぐ分かります 何をすべきかが。</p>
---	---

鳥代：続いてヴィーン（1785）版の第 2 幕第 13 場です。ヴェネツィア（1783）版の第 13-14 場を、ボローニャ（1784）版の第 13-15 場を一つの場に集約しています。

表 5 ジョヴァンニ・ベルターティ『誘拐された村娘』ヴィーン（1785）版

SCENA XIII Biagio, e detti	第 2 幕 第 13 場 ビアージョ、マンディーナとピッポ
<p>Bia. Eccomi quà, eccomi quà ancor io.</p> <p>Man. Oh benedetto il mio Papà! vedete, Che Pippo mi discaccia.</p> <p>Bia. Tu? così? Figlia mia? no, briconaccia.</p> <p>Man. Misera me! Che ho fatto?</p> <p>Pip. Se la prenda chi vole, io non son matto.</p> <p>Bia. Sì, sì. A quei contrasegni, Più semplice non credo Quel core, ch'io credeva semplicetto, Guardatela in che aspetto! Va via. Son quà venuto Con un core da padre. Ma ho fatto nel vedetti un core d'orso,</p> <p>Pip. Ed io un cor da cinghiale.</p> <p>Bia. Mutato il mio pensiero.</p> <p>Pip. Cambiato ho d'opinione.</p> <p>Bia. Resta pur col pardon.</p> <p>Pip. Sta col padrone.</p>	<p>ビアージョ ここだ、またここにいるよ。 マンディーナ。 ああ、父さんに祝福を！ 分かりますか、 あのピッポが私を追い払ってしまうんです。</p> <p>ビアージョ お前を？ そのように？ 私の娘を？ いや、野郎め。</p> <p>マンディーナ 惨めな私！ 私が何ををしたというの？</p> <p>ピッポ 誰が彼女を取ろうとしても、私は平静です。</p> <p>ビアージョ はい、はい。それらの兆候に対して、 私は単純だと信じていましたが、 その心はそれほど単純ではないと思います、 それがどのような状況か見てきてください！ あなたは行きなさい。私は父親の気持ちで ここに来ました。 でも、あなたを見ると心が痛みます。</p> <p>ピッポ 私はイノシシの心になりました。</p> <p>ビアージョ 私の考え方が変わりました。</p> <p>ピッポ 私の意見が変わりました。</p> <p>ビアージョ 恐縮します。</p> <p>ピッポ お前は殿様と一緒にいればいい。</p>

<p>Man. Dite almeno in che mancai. Bia. Non parlar, che è meglio asai. Man. Ma che feci, meschinella? Pip. Che facesti? Bagatella! Stetti lì per dirla grossa. Man. Tu mi fai diventar rossa. Bia. Ti rinunzio per figliuola. Man. Ah non dite tal parola: Pip. Io disdico il matrimonio. Man. Il padron m'è testimonio. Pip. Testimonio? Eh peggio ancor. Man. Le gridate che mi fate Mi riempion di stupor. Bia. Quella vesta ... Pip. Quella cresta ... (a2) E quell' abito, che porti Ti rimprovera i tuoi torti. Man. Abitaccio maledetto, Or mi spoglio, e via lo getto: Se mi toglie il vostro amor. Bia. Voi pardi scherniti. Pip. Voi sposi traditi. Man. Voi donne innocenti, (a3) Che a torto soffrite. Voi solo capite Le pene e i tormenti Di questo mio cor. Con. Cos' è questo fracaso? Bia. Pip. (a2) Eccolo, lo smargiasso. Man. Quest abito briccone E' d' ogni mal cagione Or ora me lo straccio. Con. Ma dimmi almen perché! Man. Per questo vestitaccio Pippo m' ingiuria a torto. Con. Che Pippo! Pippo è morto. Bia. Morto per or non è. Pip. E Pippo verde, e sano, E vive Pippo in me.</p>	<p>マンディーナ せめて私がどのように間違ったのか教えて。 ビアージョ 話さないほうがまだ。 マンディーナ でも、憐れな私が何ををしたというの? ピッポ お前が何をしたって? 取るに足りないやつめ! 僕はそこで立って待っていたんだ。 マンディーナ あなたは私を赤面させるわ。 ビアージョ 私はお前を娘とは思わん。 マンディーナ ああ、その言葉は言わないでください。 ピッポ 結婚をキャンセルします。 マンディーナ 殿様が私の証人です。 ピッポ 証人? ああ、もっと悪いことだ。 マンディーナ あなたは私に怒鳴りつけます それらは私を驚きで満ちします。 ビアージョ そのドレス... ピッポ その帽子... (二人で) そしてお前が着ているそのガウンは お前の過ちを咎めています。 マンディーナ 忌まわしいふるまいだわ、 今、私は服を脱ぎ捨てます。 もしあなたの愛が私から離れてしまうのなら。 ビアージョ 軽蔑された父親たちよ、 ピッポ 裏切られた夫たちよ、 マンディーナ 罪のない女性たちよ、 (三人で) あなたたちは不当に苦しんでいる。 あなただけが私のこの心の 痛みと苦しみを 理解しています。 伯爵 この混乱は何だ? ビアージョ、ピッポ (二人で) ほら彼が来た、強がりだ。 マンディーナ この取るに足りない服が あらゆる悪い原因です 今、それを引き裂きます。 伯爵 だが、せめて理由だけでも教えてくれ! マンディーナ このひどい服装のせいで、 ピッポは私を不当に侮辱しました。 伯爵 なに、ピッポ! ピッポは死んだ。 ビアージョ 今のところ死んでいません。 ピッポ そしてピッポは澁刺と健康で、 ピッポは私の中に生きています。</p>
---	--

<p>Con. Morto non è costui, Discostati, villano. Man. Tremo da capo a piè. Bia. Ci sono anch'io per lui, Se voi ci stuzzicate. Con. Birbanti.</p> <p>(Tira Fuori la Spada.)</p> <p>Man. Oh Dio, fermate. Con. O ch'or con questo ferro ... Bia. Pip. (a2) Ajuto, amici, ajuto. Ci ammazza questo sgberro. Man. Ah sè non è perduto Signore il vostro amore! Perdon, pietà, mercè. (a4) Qui v'è tutta l'apparenza Ch'or or siegua uno scompiglio Per levarsi dal periglio Meglio è affai partir di qua. E il giudizio, e la prudenza Poi consiglio ci darà.</p>	<p>伯爵 死んではないのか、 出ていけ、悪漢め。 マンディーナ 私、頭から足の先まで震えています。 ビアージョ あなたが私たちをからかうなら、 私も彼のためにここにいます。 伯爵 悪党たちめ。</p> <p>(剣を抜く)</p> <p>マンディーナ ああ神様、おやめください。 伯爵 ああ、この剣をお見舞いするぞ… ビアージョ、ピッポ (二人で) 助けて、友よ、助けて。 この凶悪者が私たちを殺そうとしている。 マンディーナ ああ、そう、失われたわけではありませんね、 あなたの愛が、お殿様！ お許しを、お哀れみ、お慈悲を。 (四重唱) ここには、今まさに混乱が続いており、 危険を逃れるためには ここを離れたほうが良いのが 明らかです。 そして判断力と慎重さから 忠告が与えられるでしょう。</p>
--	---

教授：ヴィーン（1785）版のリブレット改訂者が誰であるか不明であるが、その元となったリブレットはヴェネツィア（1783）版、あるいはボローニャ（1784）版のいずれであろうか。

犬輔：共通の科白を探してみましょう…。あつ、ありました。ヴィーン（1785）版で伯爵が「なに、ピッポ！ ピッポは死んだ」、ビアージョが「今のところ死んでいません」と歌うところは、ボローニャ（1784）版ではレチタティーヴォになっていますが、全く同じ科白です。

鳥代：確かにその科白はヴェネツィア（1783）版にはありませんね。

教授：それではヴィーン（1785）版の元はボローニャ（1784）版であるということで決まりだね。

## 5. ビアンキ《誘拐された村娘》ボローニャ（1784）版の音楽

### 5.1 ザクセン州立図書館の筆写譜

鳥代：モーツァルトは K.479 を作曲するに当たって、ボローニャ（1784）版の音楽を参考にしたはずだから、その楽譜が残っていれば比較検討ができるわね。

教授：ドレースデンのザクセン州立図書館に筆写譜が残っている<sup>注8</sup>から調べてみたまえ。

鳥代：楽譜の表紙には初演の場所と年が書かれているけれど、音楽は初演のテキストに付けられたものではありません。ヴェネツィアの写譜師ハオスシュテッドラーとドレースデンの写譜師（一人）の筆跡だそうですが、ドレースデン版やミラーノ版の場割りではないこと、“Ehi?... cosa fate?” が使われていること（図4参照）からトリノ版に最も近いようです。



図1 ビアンキ《誘拐された村娘》筆写スコア表紙



犬輔：第 2 幕 第 13-14 場はレチタティーヴォです。

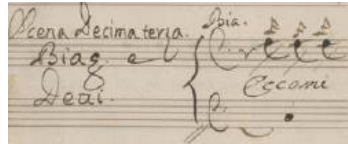


図 2 ビアンキ《誘拐された村娘》筆写スコア 第 2 幕 第 13 場 冒頭

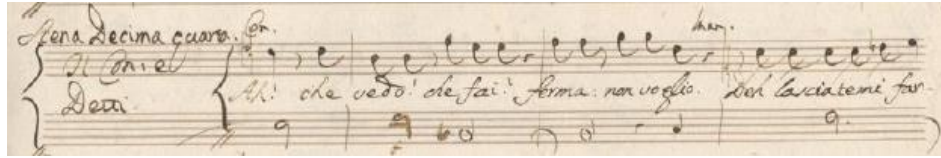


図 3 ビアンキ《誘拐された村娘》筆写スコア 第 2 幕 第 14 場 冒頭

鳥代：第 15 場はレチタティーヴォで始まり二重唱で終わります。

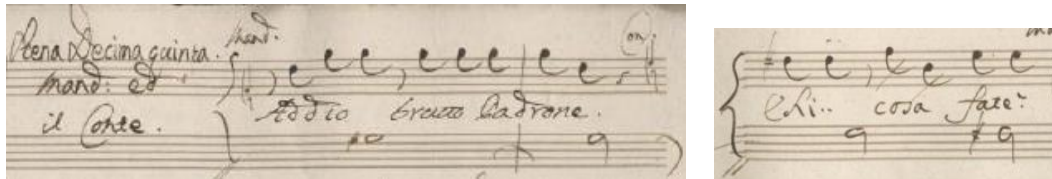


図 4 ビアンキ《誘拐された村娘》筆写スコア 第 2 幕 第 15 場 冒頭および Ehi?... cosa fate?"



図 5 ビアンキ《誘拐された村娘》筆写スコア 第 2 幕 第 15 場 二重唱の歌唱部

## 5.2 ビアンキの二重唱「私が抱く疑問、それが何であるかをお聞きください」の構成

鳥代：ザクセン州立図書館の筆写譜の第 2 幕第 15 場の二重唱「私が抱く疑問、それが何であるかをお聞きください」の構成をまとめましょう。楽器編成は 2Vn, Va, 2Ob, 2Hr, Bs です。

表 6 二重唱「私が抱く疑問、それが何であるかをお聞きください」の構成

小節	詩行 (小字は繰り返し部分)	調性	形式
4-9	[Man.] Il dubbio, che tengo sentite qual è. sentite qual è. 私が抱く疑問、それが何であるかをお聞きください。お聞きください。	A	Allegretto 6/8 イ長調
10-16	Io prender sol voglio Pippin per marito, L'affare è finito, Di più dir non sò. Di più dir non sò. 私はピッピーノを夫として迎えたいただけ、契約は終わりました、それ以上は言えません。		
18-23	[Con.] Or quel ch'io sostengo, Sentite cos'è. Sentite cos'è. 今、私が主張していることそれが何であるか聞いてくれ。聞いてくれ。		
24-30	Se avrete l'orgoglio Di dirmi più questo, In fummo ben presto Pippin manderò. In fummo ben presto Pippin manderò. これ以上私に言える度胸があなたにあるなら、すぐに煙に巻いてピッピーノを送り出してやる。ピッピーノを送り出してやる。		
31-34	[Man.] Cu cu, Cu cu, non lo credo, Montate quà sù. カッコウさながらね、信じられないわ。あなたは血が上っている。	E	
36-40	[Con.] Oh qui poi non credo, Non soffro di più. Non soffro di più. ああ、私はそうは思わない、もう苦しまない。もう苦しまない。	A	
41-44	[Man.] Pippino voglio prendere se credo di schiattar. もし死ぬのならピッピーノを連れて行きます。	E	
44-48	Pippino voglio prendere se credo di schiattar. もし死ぬのならピッピーノを連れて行きます。	B	
49-56	[Con.] No che nol prenderete. nol prenderete. No ... いや、わしが連れていく。わしが連れていく。いや...	E	
51-56	[Man.] Sì, che nol prenderò. nol prenderò. Sì ... いいえ、私が連れていきます。私が連れていきます。いいえ...	A	
57-64	[Man. & Con.] Per vincer questo gioco Vedrete ben frà poco, Vedrete ben frà poco, Che cosa saprò far. このゲームに勝つために、もうすぐ分かります。もうすぐ分かります。何をすべきかが。	A	
65-106	[Man. & Con.] 既出の歌詞の繰り返し	D→A→E A→E→A	



## 6. モーツァルト《誘拐された村娘》ヴィーン（1785）の音楽

## 6.1 自筆楽譜

教授：ベルリン国立図書館所蔵の自筆スコアは「《誘拐された村娘》／四重唱／第2幕 第13場／ヴォルフガング・アマデーオ・モーツァルト自筆／ヴィーン 1785.11.5」の記入がある14葉、27記入からなっている<sup>注9</sup>。

## 6.2 四重唱「せめておっしゃって、私がどんな過ちを犯したのか」K.479の構成

犬輔：曲の構成です。楽器編成は2Vn, 2Va, 2Ob, 2Cl, 2Fg, 2Hr, Bsです。

表7 四重唱「せめておっしゃって、私がどんな過ちを犯したのか」K.479の構成

小節	詩行（小字は繰り返し部分）	調性	形式
2-9	[Man.] Dite almeno in che mancai. せめて私がどのように間違ったのか教えて。[Bia.] Non parlar, che è meglio asai. 話さないほうがましだ。 [Man.] Ma che feci, meschinella? でも、憐れな私が何をしようの？	Es ↓ B Es	アレグロ C 拍子 変ホ長調
9-16	[Pip.] Che facesti? Che facesti? Bagatella! Stetti lì per dirla grossa. per dirla grossa. お前が何をしようの？ 取るに足りないやつめ！僕はそこで立って待っていたんだ。[Man.] Tu mi fai diventar rossa. あなたは私を赤面させるわ。[Bia.] Ti rinunzio per figliuola. 私はお前を娘とは思わん。[Man.] Ah non dite tal parola: ああ、その言葉は言わないでください。[Pip.] Io disdico il matrimonio. 結婚をキャンセルします。[Man.] Ah non dite tal parola: ああ、その言葉は言わないでください。	↓ B ↓ F ↓ B F B ↓ C B	
23-25	[Man.] Ah non dite tal parola: ああ、その言葉は言わないでください。 [Pip.] Io disdico il matrimonio. 結婚をキャンセルします。		
27-29	[Bia.] Ti rinunzio per figliuola. 私はお前を娘とは思わん。		
29-32	[Man.] Il padron m'è testimonio. 殿様が私の証人です。 [Pip.] Testimonio? Testimonio? Eh peggio ancor. 証人？ ああ、もっと悪いことだ。		
32-35	[Man.] Le gridate che mi fate Mi riempion di stupor. Mi riempion di stupor. あなたは私に怒鳴りつけます。それらは私を驚きで満たします。		
35-36	[Bia.] Quella vesta ... そのドレス...		
36-37	[Pip.] Quella cresta ... その帽子...		
37-49	[Bia. & Pip.] E quell' abito, che porti Ti rimprovera i tuoi torti. そしてお前が着ているそのガウンはお前の過ちを咎めています。[Man.] Abitaccio maledetto, Or mi spoglio, e via lo getto, e via lo getto, e via lo getto: Se mi toglie il vostro amor, il vostro amor. 忌まわしいふるまいだわ、今、私は服を脱ぎ捨てます。もしあなたの愛が私から離れてしまうのなら。		
49-58	[Bia.] Voi pardi scherniti. 軽蔑された父親たちよ、 [Pip.] Voi sposi traditi. 裏切られた夫たちよ、 [Man.] Voi donne innocenti, 罪のない女性たちよ、 [Bia., Pip. & Man.] Che a torto soffrite. Voi solo capite Le pene e i tormenti Di questo mio cor. あなたたちは不当に苦しんでいる。あなただけが私のこの心の痛みと苦しみを理解しています。		
58-71	[Bia.] Quella vesta ... そのドレス... [Pip.] Quella cresta ... その帽子... [Bia. & Pip.] E quell' abito, che porti Ti rimprovera i tuoi torti. そしてお前が着ているそのガウンはお前の過ちを咎めています。 [Man.] Abitaccio maledetto, Or mi spoglio, e via lo getto, e via lo getto, e via lo getto: <b>Se mi toglie il vostro amor</b> , il vostro amor. 忌まわしいふるまいだわ、今、私は服を脱ぎ捨てます。もしあなたの愛が私から離れてしまうのなら。		
72-81	[Bia.] Voi pardi scherniti. 軽蔑された父親たちよ、 [Pip.] Voi sposi traditi. 裏切られた夫たちよ、 [Man.] Voi donne innocenti, 罪のない女性たちよ、 [Bia., Pip. & Man.] Che a torto soffrite. Voi solo capite Le pene e i tormenti Di questo mio cor. あなたたちは不当に苦しんでいる。あなただけが私のこの心の痛みと苦しみを理解しています。		
82-83	[Con.] Cos'è questo fracaso? この混乱は何だ？		レチタティーヴォ
84-87	[Bia. & Pip.] Ecco, lo smargiasso. ほら彼が来た、強がりが。	Es, g Es	アレグロ・アッサイ 変ホ長調
88-95	[Man.] Quest abito briccone E' d' ogni mal cagione Or ora me lo straccio. Or ora me lo straccio. この取るに足りない服があらゆる悪い原因です。今、それを引き裂きます。	↓ B d ↓ B F ↓ B ↓ g B	
96-97	[Con.] Ma dimmi almen perché! だが、せめて理由だけでも教えてくれ！		
98-101	[Man.] Per questo vestitaccio Pippo m' ingiuria a torto. このひどい服装のせいで、ピッポは私を不当に侮辱しました。		
102-105	[Con.] Che Pippo! Che Pippo! Pippo è morto. なに、ピッポ！ピッポは死んだ。		
106-107	[Bia.] Morto per or non è. 今のところ死んでいません。		
108-114	[Pip.] E Pippo verde, e sano, E vive Pippo in me. E vive E vive Pippo in me. そしてピッポは澁刺と健康で、ピッポは私の中に生きています。		
115-127	[Con.] <b>Morto non è costui, Morto non è costui</b> , Discostati, villano. <b>死んではいけないのか、死んではいけないのか</b> 、出ていけ、悪漢め。[Man.] Tremo		

小節	詩行 (小字は繰り返し部分)	調性	形式
127-139	da capo a piè. 私、頭から足の先まで震えています。 [Bia.] Ci sono anch'io per lui, Se voi ci stuzzicate. あなたが私たちをからかうなら、私も彼のためにここにいます。 [Con.] Birbanti. 悪党たちめ。 [Man.] Oh Dio, fermate. Oh Dio, fermate, etc. ああ神様、おやめください。 [Con.] Birbanti. Birbanti. O ch' or con questo ferro, etc. 悪党たちめ。 ああ、この剣をお見舞いするぞ… [Bia. & Pip.] Ajuto, amici, aiuto. Ci ammazza questo sgberro, etc. 助けて、友よ、助けて。この凶悪者が私たちを殺そうとしている。	↓ Es ↓ c g ↓ Es ↓ c Es	
140-147	[Man.] Ah sè non è perduto Signore il vostro amore! Perdon, pietà, mercè. ああ、そう、失われたわけではありませんね、あなたの愛が、お殿様！ お許しを、お哀れみ、お慈悲を。		
147-155	[Man.] Oh Dio, fermate. Oh Dio, fermate, etc. ああ神様、おやめください。 [Con.] Birbanti. Birbanti. O ch' or con questo ferro, etc. 悪党たちめ。 [Bia. & Pip.] Ajuto, amici, aiuto. Ci ammazza questo sgberro, etc. 助けて、友よ、助けて。この凶悪者が私たちを殺そうとしている。		
155-163	[Man.] Ah sè non è perduto Signore il vostro amore! Perdon, pietà, mercè. ああ、そう、失われたわけではありませんね、あなたの愛が、お殿様！ お許しを、お哀れみ、お慈悲を。		
168-235	[Bia., Pip. Con. & Man.] Qui v'è tutta l'apparenza Ch'or or siegua uno scompiglio Per levarsi dal periglio Meglio è affai partir di qua. E il giudizio, e la prudenza Poi consiglio ci darà, etc. ここには、今まさに混乱が続いており、危険を逃れるためにはここを離れたほうが良いのが明らかです。そして判断力と慎重さから忠告が与えられるでしょう。	↓ Es ↓	Più stretto (だんだん速く)

鳥代：主調は変ホ長調ですが、アレグロの部分では変ロ長調の方が多そうですね。変ホ長調より少し真面目に聞こえることを狙ってのことかも知れません

犬輔：短調の使い方に特徴があって、ニ短調は悪の根源の物品を、ト短調はハッター屋の伯爵の窮地を、ハ短調は能天気なマンディーナの窮地を表しています。特にマンディーナは殿さまからの愛に未練があることをモーツァルトは 156 小節以下で示しています。

鳥代：一方で剣を振り回す伯爵と、助けを求めるピッポとビアージョは主調で歌われ、茶番劇であることが分かります。

## 7. ヴィーン上演の日付について

鳥代：表 2 でヴィーンの上演日が 1785.11.25 となっていますが、新全集では 1785.11.28 とされています。どちらが正しいのでしょうか。

教授：細かいところによく気が付いたものだ。犬輔君は何を参照したのかね。

犬輔：corago のサイトです。ドロシア・リンクの論文が参照されていました。

教授：二つの説の経緯についてはデクスター・エッジが以下の通り説明している<sup>注 10</sup>。かいつまんで紹介しよう。ヴィーンでの初演ポスターの日付は 25 日である。しかし、ヴィーン新聞の報告では「皇室王室国民劇場 […] —— 今週の月曜日 11.28、2 幕のイタリア語オペラ《誘拐された村娘》が初演された。その音楽はクレモナ出身の楽長ビアンキ氏による」となっており、これを O.E. ドイチュが『ドクメンテ』で引用した。ところが、1780.11.29 に亡くなった女帝マリーア・テレーシアの追悼のためヴィーンの宮廷劇場は 1791 年までの年の 11.28 と 11.29 は閉館されたという。1785 のこの 2 日間も実際に劇場が閉まっていたことはバイロイト新聞の次の記述から確認される。「今日と明日は、忘れられない偉大なマリーア・テレーシアの命日のため、劇場は休館となります。私たちは今でもマリーア・テレーシアの死を心の中で深く感じています」。エッジはこう結論付けている「したがってポスターの日付は正しく、ヴィーン新聞の日付は間違っている。《誘拐された村娘》は確実に 1785.11.25 金曜日に上演された」。

## 8. まとめ

犬輔：ベルターティ台本の《誘拐された村娘》はビアンキの音楽によってヴェネツィア (1783) にて初演されました。その後改訂により短くされたり、逆に長くされたりして各地で上演されましたが、ヴィーンでの上演時には、ヴィーンの宮廷劇場の詩人 (ダ・ボンテという説が有力) が改訂版の長い方を参照しながら、その第 2 幕の第 13-15 場 (改訂版の短い方の第 11-13 場に相当し、内容に関してはほぼ同一) を一つに纏めた新しい第 13 場を設けました。

鳥代：その結果、延々と続くレチタティーヴォと、単純な二重唱を短いレチタティーヴォと表情豊かな四重唱にモーツァルトが作り替えることができたのでした。

犬輔：ザクセン州立図書館の筆写譜になかった 2Cl が K.479 と K.480 使われているのは、ヴィーンの上演では既存のナンバー曲も含めて楽器編成が拡大されたものと思われます。

鳥代：ヴィーン（1785）版の巻末に「注：四重唱曲と三重唱曲の音楽は楽長モーツァルト氏による NB. La musica del quartetto è del terzetto è del Signor Maestro Mozart.」と書かれており、これはピアノ以外の作曲者はモーツァルトに限定されることを意味します。つまり、エッジが「ヴィーンで上演された《誘拐された村娘》は、フランチェスコ・ピアノのオペラを基にしたパステッチョで、地元の作曲家によるいくつかの曲が挿入されていました」という表現は正確ではありません。つまり、K.479 や K.480 は代替曲であり、寄せ集めの曲ではないからです。

犬輔：モーツァルトの曲からは適確な心理描写が伺え、5か月後に完成する《フィガロの結婚》K.492 の特徴が既に見られることに驚かされます。

教授：今回はリブレットの比較翻訳に手間がかかったようだね。だがそれだけの遣り甲斐はあったものと思われる。さらに K.479 と対を成す K.480 に関しては、松田聡氏の論文<sup>注11</sup>を読むことを諸君たちに奨める。

注1：La villanella rapita. Dramma giocoso per musica di Giovanni Bertati da rappresentarsi nel Teatro Giustiniani in San Moisè l'autunno dell'anno 1783. Sartori 1990 24897

注2：La villanella rapita. Dramma giocoso per musica da rappresentarsi nel Teatro Zagnoni nell'autunno dell'anno 1784. - In Bologna : nella stamperia del Sassi, [1784], Sartori 1990 24898

注3：La villanella rapita. Dramma giocoso per musica da rappresentarsi nel Teatro di s.a. serenissima il signor Principe di Carignano nell'autunno dell'anno 1784. - Torino : Onorato Derossi, [1784], Sartori 1990 24901

注4：La villanella rapita. Dramma giocoso per musica da rappresentarsi nel Teatro di s.a.e. di Sassonia. = Das entführte Bauermädchen [!] [...]. - Dresda : 1785, Sartori 1990 24902

注5：La villanella rapita. Dramma giocoso per musica di Giovanni Bertati da rappresentarsi nel Teatro Dolfino di Treviso l'estate 1785. - Venezia : 1785, Sartori 1990 24904

注6：La villanella rapita. Dramma giocoso per musica da rappresentarsi nel Teatro alla Scala l'autunno dell'anno 1785. - In Milano : appresso Gio. Batista Bianchi, [1785], Sartori 1990 24903

注7：La villanella rapita. Dramma giocoso per musica da rappresentarsi nel Teatro Nazionale. = Das entführte Bauernmädchen [...]. - Vienna : Giuseppe de Kurzbek, 1785, Sartori 1990 24907

注8：La Villanella rapita - Mus.3915-F-502 ∞

注9：NMA II/7/3-4: Arien, Szenen, Ensembles und Chöre mit Orchester · Band 3 & 4, KB (Küster, 2003) ∞

注10：Edge, Dexter. 2014. "A report on the Viennese premiere of La villanella rapita (28 November 1785)." In: Mozart: New Documents, edited by Dexter Edge and David Black. First published 12 June 2014; updated 20 January 2018. ∞

注11：松田 聡『レチタティーヴォから三重唱曲へ：モーツァルトの《愛らしいマンディーナ》K. 480 に関する考察』大分大学教育学部研究紀要 38 (2), 9-24, 2017-03 ∞

(作成：2023年6月29日)

付表1 ジョヴァンニ・ベルターティ『誘拐された村娘』ヴェネツィア（1783）版

SCENA XIII Biagio, e detti	第2幕 第13場 ビアージョ、マンディーナとピッポ
Bia. Eccomi quà, eccomi quà ancor io. Man. Oh benedetto il mio Papà! vedete, Che Pippo mi discaccia. Bia. Tu? così? Figlia mia? no, briconaccia. Man. Misera me! Che ho fatto? Pip. Se la prenda chi vuole, io non son matto. Bia. Sì, sì. A quei contrasegni, Più semplice non credo Quel core, ch'io credeva semplicetto, Guardatela in che aspetto! Va via. Son quà venuto Con un core da padre. Ma ho fatto nel vedetti un core d'orso, Pip. Ed io un cor da cinghiale. Bia. Mutato il mio pensiero. Pip. Cambiato ho d'opinione. Bia. Resta pur col pardon. Pip. Sta col padrone. Man. Caro Padre, Pippo mio. Non mi state a maltrattar. Pip. Crepa. Bia. Schiatta. a2 Sò ben io Quel che teco avrei da far. Man. Ma perchè tanto rigore? Bia. Pip. a2 Perchè sono un uom d'onore,	ビアージョ ここだ、またここにいるよ。 マンディーナ。 ああ、父さんに祝福を！ 分かりますか、 あのピッポが私を追い払ってしまうんです。 ビアージョ お前を？ そのように？ 私の娘を？ いや、野郎め。 マンディーナ 惨めな私！ 私が何ををしたというの？ ピッポ 誰が彼女を取ろうとしても、私は平静です。 ビアージョ はい、はい。それらの兆候に対して、 私は単純だと信じていましたが、 その心はそれほど単純ではないと思います、 それがどのような状況か見てきてください！ あなたは行きなさい。私は父親の気持ちで ここに来ました。 でも、あなたを見ると心が痛みます。 ピッポ 私はイノシシの心になりました。 ビアージョ 私の考え方が変わりました。 ピッポ 私の意見が変わりました。 ビアージョ 恐縮します。 ピッポ お前は殿様と一緒にいればいい。 マンディーナ 親愛なる父、私のピッポ。 私を虐待しないでください。 ピッポ 亀裂だ。 ビアージョ。 破壊だ (二人で) 私はあなたと何をしなければならないかを よく知っています マンディーナ でも、なぜそこまで厳しいの？ ビアージョ、ピッポ、二人で 私は名誉ある人間だから。

<p>Man. Poverina non so niente, E mi sento strapazzar. Bia. Pip. a2 Vuole passar per innocente, Due Babbioni ci vuol far. Man. Ma spiegatevi ad un tratto: Dite alfin che cosa ho fatto. Bia. Qual vestito ti condanna. Pip. Già da quallo intendo il tesso. Ma. Maledetto, quand' è quello Su' vostri occhi or qui mi spoglio. (vuole spogliarsi.)</p> <p style="text-align: center;">SCENA XIV. Conte, e detti.</p> <p>Con. Cosa fai? Ferma: non voglio. (la trattiene.) Man. Deh lasciatemi Signore. Con. Ah Mandina qual furore. Man. Voglio andarmente di quà. Con. Niun da me t' involerà. Bia. Voi rapita me l'avete Ma giustizia vi farà. Pip. Risarcire voi dovete.</p> <p style="text-align: center;">(Gettando la Perucca, ed il Capello per farsi comoscere al Conte.)</p> <p>Con. a4 Come! Pippo è il Cavaliere! Ah Briccon l'hai da scontar. (a Pip.) Pip. a4 Non v' è caso: E' naturale: Già Costui l'ho da accoppar (fra se.) Bia. a4 Or la cosa più non spero (fra se.) Che abbia ben da terminar. Man. a4 Meschinella! Mi Viene male: (fra se.) Sento il Core a palpar Man. Senza colpa oh Dio! Meschina (al Conte.) Son per voi così ridiotta, Non son più quella Mandina Che fu cara a tutti ognor. Con. Sì che cara a me tu sei, Non aver alvun timore: Big. Pip. (a2) Eh di grazia pensi a lei, Qui non c' entra il Protettor. (al Con.) Con. Vi togliete a gli occhi miei, (Impugnando un ferro.) O vi pazzo adesso il Cor. Man. Ah non fate. (trattenendolo.) Pip. Bia. (a2) Bell' azione Veramente da Signor. Bia. Potrei darvi anch'io risposta. (Presentando il suo Spontone.) Pip. Questo stocco e fatto a posta. (Presentando il suo stocco.) Man. Ah fermate. Padre oh Dio! Caro Sposo, Signor mio (Trattenendoli.) Più non state a suffurar. Con. Ahi briccone scellerato Fremo, smanio, son piccato Me l'averete dà pagare. Pip. Padron mio non fate il matto: Sò alla fin cosa v'ho fatto, E le mani anch'io menar. Bia. Maledetto il punto sia, Che vi vene in fantasia Di venire a Villeggiar.</p>	<p>マンディーナ 残念なことに、私は何も知らず、 圧倒されています。 ビアージョ、ピッポ、二人で 彼女は無実で通したいと思っており、 私たち二人をお父さんにしたいと考えています。 マンディーナ でも、自分自身ですぐに説明してください： 私が何をしたら教えてください。 ビアージョ どのような服装があなたを非難しますか。 ピッポ 織りのことです。 マンディーナ 忌まわしい、いつそれがあなたの目に 映るのでしょうか。今ここで私は服を脱ぎます。 (服を脱ごうとする)</p> <p style="text-align: center;">第 14 場 伯爵、ビアージョ、マンディーナとピッポ</p> <p>伯爵 何している？ やめよ：見たくない。(抱き締める) マンディーナ ああ、殿様、さしてください。 伯爵 ああ、マンディーナは何という怒りだろう。 マンディーナ ここから去りたい。 伯爵 誰も私からあなたを離すことを望んでいません。 ビアージョ あなたは誘拐された私の娘を所有している。 しかし、正義があなたを成敗します。 ピッポ あなたは賠償しなければなりません。 (伯爵に自らを明かすために かつらと帽子を捨てる)</p> <p>伯爵 (四人で) なんと！ 騎士はピッポだったか！ ああ、与太者、お前は後始末すべきだ。(ピッポに) ピッポ (四人で) そんなチャンスはない：当然だ： 私にはすでに意中の人がいます。(皆に) ビアージョ (四人で) 今では、完遂させる必要があるとは (皆に) もう思っていない。 マンディーナ (四人で) 馬鹿なことを！ それは私を傷つけます：(皆に) 心臓がドキドキするのを感じます。 マンディーナ 罪悪感はないわ、おお神よ！ 意地悪ね (伯爵に) 私はあなたに対してとても愚かです、 私はもう、いつもみんなに愛されていた マンディーナではありません。 伯爵 そう、あなたは私にとって大切な人で、 何も怖くありません。 ビアージョ、ピッポ (二重唱) ああ、どうか彼女のことを考えてください、 ここにはパトロンは関係ありません。(伯爵に) 伯爵 私の目に映る限りにおいて、(剣を持って。) おお、今お前の心は狂っている。 マンディーナ ああ、やめてください。(彼を抱きしめて) ピッポ、ビアージョ (二重唱) 素敵なアクション まさに殿さまから。 ビアージョ 応酬することもできます。 (自発的に提案)</p> <p>ピッポ この細身の剣は意図的に作られたものです。 (彼の細身の剣を紹介)</p> <p>マンディーナ ああ、やめて。父よ、神よ！ いとしい夫よ、お殿様 (彼らを抱きしめて) もう議論しないでください。 伯爵 ああ、極悪非道な悪役 震える、不安になる、興奮する 借りは返してもらいます。 ピッポ 殿様、怒らないでください。 結局何をすべきか分かっているの、 私も手を取ります。 ビアージョ 呪われているのは、 避暑に来るのが 好きだということだ。</p>
---	--